

平成 29 年第 4 回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成 29 年 11 月 28 日

大仙市長 老 松 博 行

平成 29 年第 4 回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、7 月、8 月の大雨災害の復旧状況等についてであります。

市災害復旧本部では、8 月 24 日開催の第 1 回会議に続き、9 月 26 日の第 2 回会議において復旧状況やスケジュールの確認、10 月 30 日の第 3 回会議において災害義援金の配分や市単独の被災者生活再建支援金等について協議しております。これまで本市に寄せられた義援金は、11 月 22 日現在、県から配分される分と合わせ総額 1 億 571 万円となっており、お寄せいただいた多くの善意に対しまして、この場をお借りし、厚く御礼を申し上げる次第であります。なお、この義援金及び生活再建支援金については、11 月 13 日に対象となる方へご連絡し、12 月上旬にお渡しする予定であります。

被災した市管理河川及び市道の復旧については、公共土木施設災害復旧事業に 102 件を申請し、11 月 17 日の国の第 9 次災害査定時点で 98 件の事業費が決定しております。内訳は、河川が 33 件、2 億 8,650 万円、道路・橋梁が 65 件、7 億 4,261 万円で総額 10 億 2,911 万円となっており、緊急度の高い箇所から、順次、工事発注に向け準備を進めてまいります。

国、県管理の河川改修については、10 月 2 日の議員全員協議会でも

申し上げましたが、雄物川の改修では、9月26日、国土交通省から「河川激甚災害対策特別緊急事業」の実施が発表され、平成34年度までの概ね5年間で約218億円の事業費が予算配分されることとなっております。本市では、神宮寺、寺館・大巻、強首、中村・芦沢、岩瀬・湯野沢及び物渡の各地区で築堤工事が実施されるとともに、本年度は、災害対策等緊急事業推進費5億8,000万円が予算措置され、福部羅地区の堤防嵩上げ工事等が実施されると伺っております。

県管理河川の改修については、10月16日、県庁に佐竹知事を訪ね、福部内川、土買川、淀川及び檜岡川等の改修や堤防の嵩上げ等について要望活動をしております。その後、県から被害の大きい協和地域の川原地区については、国の事業を活用し、本年度から平成32年度までの4年間で集中的に事業を実施し築堤の完成を目指すという旨を伺っております。

内水対策については、市街地の被害が大きかった大曲地域の3か所で常設排水ポンプの増設を計画しており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

農林業における復旧については、第3回定例会でご承認いただいた「農業経営等復旧・再開支援事業」について、10月2日から各支所において申請受付を開始し、11月15日現在、農作物関係で324件、農業用機械・施設関係で47件を受け付けております。このうち、主要品目である水稻・大豆については、次年度の種子購入等の助成に対し150件、

園芸作物については、市単独の経営支援である「野菜・花き被災生産者給付金」に対し 61 件の申請があり、被災生産者の経営再開支援を進めております。

農地・農業用施設については、補助災害復旧事業では 11 月 14 日の国の第 7 次査定時点で 52 件の申請のうち 51 件、総額 3 億 7,481 万円の事業費が決定し、順次、工事発注を進めてまいります。また、県営ほ場整備事業は、協和地域下淀川地区などの被災地区では復旧工事と本年度予定の整備が並行して実施されており、来年度以降の事業推進に影響が出ないように予算確保に向けて国、県に対し要望してまいります。

国の復旧事業の対象とならない農地等の小規模災害への復旧支援については、11 月 21 日現在 442 件、総額 9,082 万円の事業費が申請されております。

林業関係については、補助災害復旧事業では 11 月 14 日の第 4 次査定をもって国の災害査定が終了し、16 件、総額 1 億 8,455 万円の事業費が決定しており、順次、工事発注を進めてまいります。

上下水道に係る復旧については、協和南部地区簡易水道施設、協和中央浄化センター、峰吉川及び白岩地区の農業集落排水施設について、10 月 25 日までに国の災害査定が終了し、年度内の完了を目指して工事発注を進めてまいります。

市内商工事業者の事業再開支援については、11 月 15 日までに 40 件の

申請を受け付けており、補助金の決定総額は 871 万円となっております。

引き続き、迅速な復旧に向けて、組織体制の強化も図りながら全力で取り組んでまいります。

次に、9月、10月の台風等による被害状況についてであります。

9月18日の秋田県沖を通過した台風18号、10月23日の岩手県沖を通過した台風21号、及び10月30日の急速に発達した低気圧による暴風では、幸い人的な被害はなかったものの、屋根トタンの剥離や倒木等の被害が市内各地域で発生しております。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

被害については、台風18号では、中仙、太田地域を中心に、住家4棟と事業所2棟の屋根トタンや外壁の剥離、公共施設被害6棟、選挙の掲示板や看板、ゴミ集積所等の損傷49か所、倒木57本、ビニールハウスのビニール剥離4棟、停電60戸、道路の通行止め6か所となっております。

台風21号では、中仙地域を中心に、住家2棟の屋根トタンの剥離、外壁破損など公共施設被害4棟、非住家被害2棟、倒木10本、ビニールハウスのビニール剥離3棟、果樹落下被害4件、道路の通行止め1か所となっております。

10月30日の暴風では、市内で本年最高となる瞬間最大風速23.4メー

トルを計測し、中仙地域において非住家被害 1 棟のほか、倒木 4 本、果樹被害 1 件、ビニールハウスのビニール剥離 1 棟、道路の通行止め 1 か所となっております。

いずれの被害も現在は、生活に影響のある倒木等は処理され、通行止め等は解消されております。

次に、雪対策についてであります。

本格的な降雪時期を前に、市民、事業所、行政が一丸となって雪に立ち向かう機運を高めるため、11月1日、大曲市民会館において「『ゆき・まち』だいせん 2017」を開催しております。これは、昨年度、それぞれ実施した「雪シンポジウム」と「除雪等合同出動式」を同日開催したもので、当日は、道路除雪業者、除雪ボランティア「大仙雪まる隊」など 267 人が参加し、雪対策における先進的な取組をされている鶴岡市^{さんぜ}三瀬地区自治会による講演や、除雪等の合同出動式を行っております。

新たな雪対策事業として平成 27 年度から取り組んでいる「地域提案型自治会等雪対策モデル事業」については、これまで事業を実施した自治会等からの意見を取り入れながら内容を検証・改善し、本年度「地域協働雪対策事業」として本格的にスタートしております。10 月末現在で 17 の団体から事業計画が提出され、このほど交付決定を行ったところであります。

また、「高齢者等雪対策総合支援事業」については、10月末現在で731世帯から利用申請があり、随時、利用決定を行っております。申請内容の内訳は、間口除雪の申込みが437世帯、雪下ろし事業者の割当て希望が452世帯となっており、これに対応する雪下ろし登録事業者は108事業者となっております。

道路除雪事業については、本年度も、大曲地域を除く7地域においてプロポーザル方式により選定された7共同企業体、及び従来どおり選定された大曲地域18法人の計25経営体と、10月31日付けで業務委託契約を締結しております。

次に、部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

職員採用試験については、「大学卒業程度」では各職種合わせて105人の申込みがあり、最終合格者は一般事務職上級15人、上級土木1人、社会福祉士1人、職務等経験者2人の計19人としております。

また、「短大・高校卒業程度」では各職種合わせて37人の申込みがあり、最終合格者は一般事務職初級5人、初級土木1人の計6人としております。

アーカイブズについては、10月1日、長崎県佐世保市において開催された「第29回住生活月間中央イベント」の記念式典において、「大仙

市公文書館（アーカイブズ）設置事業」が国土交通省住宅局長表彰を受けております。今回の受賞は、空き建築物となった旧双葉小学校を東北初となる市立公文書館に活用することにより、歴史的公文書や地域史料の保存、一般公開を通じて地域活性化を図っていることが認められたものであります。

次に、企画部関係についてであります。

男女共同参画については、平成 19 年 11 月の「男女共同参画都市」宣言から本年で 10 周年の節目を迎えております。これにあたり市では、ワーク・ライフ・バランスを実践し、全職員が仕事と家庭を両立させ、いきいきと活躍できる職場環境づくりを推進することを目的に、9 月 22 日、市の幹部職員 89 人による「大仙市イクボス宣言」を行っております。今後も更なる組織の活性化と意識啓発を図るとともに、市内の事業所等へもワーク・ライフ・バランスの推進に向けて働きかけを行ってまいります。

また、11 月 26 日には仙北ふれあい文化センターを会場に、約 250 人が参加し「男女共同参画都市宣言 10 周年記念フォーラム」を開催しております。フォーラムでは、市の基幹産業である「農業」に着目し、農業の 6 次産業化や情報発信を実践している方々による講演やパネルディスカッションなどを行っております。

この度の10周年を契機に、男女がともに輝き活躍できる環境づくりを一層推進してまいります。

次に、市民部関係についてであります。

安全安心なまちづくりについては、防犯、防災、青少年健全育成、交通安全の各分野の関係団体の協力をいただき、10月20日に大曲市民会館において約400人が参加し「大仙市安全安心推進集会」を開催しております。個人8人と1団体に対する功労者表彰のほか、7月の大雨災害で尽力された個人7人と3団体に対しての特別表彰や、秋田県警察本部生活安全部長の^{わたなべのぶお}渡部信雄氏による講演などを行っております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

「秋田からつながれ！つらなれ！長寿の輪」を大会テーマに、9月9日から12日まで4日間の日程で開催された「第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）」については、県内17市町村を会場に延べ52万人が参加し、26種目のスポーツ、文化交流大会や各種イベント等が行われました。このうち、本市ではグラウンド・ゴルフ及び将棋の2種目の交流大会が行われ、全国から参加した選手同士はもちろん、地元の中学・高校生、市民とも様々な形で交流を深めていただきました。また、大会運営にあたっては、競技主管団体をはじめボラ

ンティアや関係者の協力のもと、ほぼ日程どおり成功裏に終了しております。

敬老会については、9月1日の太田、神岡地域を皮切りに15会場で開催し、3,914人の皆様から参加いただいております。

金婚式については、10月25日に、仙北ふれあい文化センターを会場に開催し、結婚50周年を迎えられた72組のご夫婦を祝福しております。

7月の大雨により床上浸水の被害を受け、園舎の使用が不可能となった淀川保育園については、9月30日をもって閉園の手続きが完了しております。在園児19人は、7月25日から協和保育園で保育を受けており、この度の閉園により、10月1日から正式に協和保育園児として保育園生活を送っております。

次に、農林部関係についてであります。

平成30年産の米の生産調整の対応については、市のスケジュールとして、12月上旬に県が提示する県全体の「生産の目安」を踏まえ、市全体の目安を算定し、12月22日開催の市農業再生協議会での承認を経て、平成30年1月中には、JA等集荷業者へ平成30年産の「生産の目安」として通知することとしております。これを受け集荷業者においては、農業者ごとに「生産の目安」を算定し提示することとしており、

市といたしましては、引き続き生産調整の実効性を確保するため、J A等と連携を深め、農業者が計画的な生産が行えるよう環境づくりに努めてまいります。

10回目となる「大仙農業元気賞」については、10月12日に大曲地域の夫婦1組、中仙地域の個人1人の計3人を表彰しております。これまで受賞された31人と同様、地域農業をけん引する若手農業者として、更なる活躍を期待しております。

13回目となる「大仙市秋の稔りフェア」については、10月21日と22日の両日、大曲ヒカリオと花火通り商店街を会場に開催しております。21日にJ R大曲駅で行われた「大曲エキまつり」との相乗効果もあり、3万4,000人の来場をいただき、多くの市民から稔りの秋を楽しんでいただいております。

次に、経済産業部関係についてであります。

10月14日と15日の両日、J R大曲駅前・花火通り商店街周辺及び大曲市民会館を会場に開催した「新・秋田の行事 i n 大仙 2017」については、ユネスコ無形文化遺産に登録された角館・土崎・花輪の「山・^{ほこ}鉾・屋台行事」をはじめ、県内各地の伝統芸能や祭りが盛大に披露されております。また、同時開催した「大曲の花火 秋の章」については、夏の全国花火競技大会と同じ会場で初めて開催し、3万8,000人の観客

から秋田の祭りを表現した花火など多彩な演出の花火ショーを楽しんでいただいております。両イベントを同時開催としたことで大手旅行会社などによる観光ツアーも数多く企画され、2日間で来場された10万3,500人の観客に、本市と秋田の魅力的な観光資源を十分に発信できたものと考えております。

13回目となる「大仙市技能功労者表彰」については、10月17日、推薦団体や議員各位をはじめ多数の方々の出席をいただき、永年にわたり本市産業の発展に尽力された優れた技能を持つ建築大工業、管工事業、さく井工事業、とび工事業の4分野から4人の方々を表彰しております。

韓国唐津市との友好交流については、私をはじめ、市議会、大曲商工会議所、市商工会、JA秋田おばこ、市観光物産協会、刈和野大綱引保存会の代表者等による訪問団22人が10月29日から11月1日まで唐津市を訪れ、両市の「友好交流に関する協定」締結10周年記念事業に参加しております。今回の訪問では、記念式典への出席や機池市綱引き博物館で開催されている「刈和野の大綱引き特別展」の視察を通じて両市の親交を更に深めるとともに、経済交流を推進するための「経済交流会議」を初めて開催し、新しい分野における交流についても検討を開始したところであります。

10回目となる「大仙市首都圏企業懇話会」については、11月20日に東京都において、本市に縁のある企業関係者や進出済み企業の本社

などから 35 人の出席をいただき、地元選出の国会議員、ふるさと会役員、市議会議員、商工団体や J A 秋田おぼこの方々など合わせて 76 人が参加し開催しております。懇話会では、花火産業構想と株式会社花火創造企業の取組について、大曲商工会議所の佐々木会頭と花火創造企業の小松社長から講演をいただいたほか、市政報告や企業支援策の紹介及び参加企業の現状などについて情報交換を行っております。

なお、花火産業構想における施策の一つである、地場産の間伐材を用いた花火玉の原料開発については、旧西仙北スキー場跡地に炭焼き窯、テント等を設置し、10 月 12 日から市観光物産協会が地場産のアカマツで木炭の製造を開始しております。秋田県立大学の協力を得ながら安定した松炭の製造方法を確立し、年度内に株式会社花火創造企業へ供給する予定となっております。

次に、建設部関係についてであります。

第 1 回定例会で請負契約締結をご承認いただいた、西仙北地域の暁橋橋梁補修工事については、橋の舗装部のはぎ取り工事を実施し内部を確認したところ、損傷状況が想定範囲を超えており契約の増額変更が必要となったことから、今次定例会において、当該工事の変更契約締結に係る議案について追加提案をお願いすることとしております。

次に、教育委員会の教育指導部関係についてであります。

本年で5年目となる「だいせん防災教育『生き抜く力育成』事業」については、事業の柱の一つである避難所開設訓練を10月26日に太田中学校を会場に実施しており、太田地域の各自主防災組織、中学生サミットのメンバーなど約320人が参加しております。非常時に有効なパーテーションの設置や炊き出しなど、日本赤十字社秋田県支部及び太田分区との連携により実践的な訓練を実施したほか、元釜石市消防防災課長すえながまさしの末永正志氏より、東日本大震災時に避難所を運営した経験をもとに「東日本大震災からの教訓」と題した講演をいただいております。

なお、これまでの取組を参考に、7月2日には平和中学校が、10月31日には大曲中学校が地域住民や関係機関と連携し、シェイクアウトや避難所開設に係る訓練を実施しております。

次に、生涯学習部関係についてであります。

第39回全県500歳野球大会については、9月16日から21日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から過去最多となる185チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。台風18号の影響により日程を1日順延いたしましたが無事に大会を終了しております。なお、本大会の上位チームは、来年の第2回全国500歳野球大会への出場権を得られることとなっております。

旧池田氏庭園については、洋館が 10 月 20 日に開催された国の文化審議会において、「旧池田家住宅洋館」として国の重要文化財に指定すべきとの答申がされており、今後、文化庁内での事務手続きを経て、年内には官報告示により正式に指定される見通しとなっております。指定されますと、市内の重要文化財建造物は、明治 41 年に指定された「古四王神社本殿」に次いで 2 件目となります。指定に際して、これまでご協力いただいた皆様に御礼を申し上げますとともに、建造物としての高い価値を評価された洋館について、一層の普及広報活動を推進し、交流人口の拡大に活かしてまいりたいと存じます。

「大曲新人音楽祭コンクール」の後継事業として、本年度初開催となる「大曲市音楽祭」については、地元音楽団体や仙台フィルハーモニー管弦楽団などの協力をいただき、11 月 3 日から 5 日までの 3 日間、大曲市民会館を会場に開催しております。初日は、赤ちゃんを連れた多くの子育て世代が訪れた「0 歳からのオーケストラ」をはじめ、薫バレエ研究所の公演や楽器演奏クリニック、2 日目は、市内全中学生を対象としたオーケストラ鑑賞や大曲中学校吹奏楽部の公演、そして最終日は、地元吹奏楽 4 団体による合同演奏が行われ、フィナーレを飾る「市民のためのオーケストラ」では 520 人がその音色に魅了されております。3 日間で延べ約 4,000 人の方々に「音楽のまち大曲」の芸術の秋を堪能いただいております。

最後に、平成 30 年度当初予算編成について申し上げます。

来年度は、私のもとで編成する初めての当初予算であり、市全体を元気にするまちづくりを一層進めていくこととしております。

また、本年度発生した災害の復旧事業を迅速に進めながら、災害対応力の強化に最優先に取り組むほか、人口減少対策や公共施設の老朽化対策など、様々な課題の解決と市民生活の向上を目指して、効果的な予算編成に努めてまいります。

主な事業としては、災害復旧対策に係る内水排除機能の強化や本年度からの継続事業である「(仮称)花火伝統文化継承資料館」の建設事業、広域消防本部改築事業のほか、地域の魅力を活かす事業への取組を予定しており、一般会計の当初予算総額は、現時点の推計で本年度を下回る 440 億円前後になるものと見込んでおります。

一方、普通交付税における合併特例措置額の段階的な減少に加え、財政調整基金を財源調整や災害復旧への対応として活用していることなどから、一般財源の確保に苦慮しており、事業内容の見直しや事務事業の必要性などの検証を進めながら、地域全体の成長力の向上と適切な財政運営の両立を図ってまいりたいと考えております。

なお、予算編成においては、「災害復旧対策の推進」、「身の丈に合った予算編成」の 2 点を基本的な考え方とし、「防災減災対策の推進と都市基盤の整備」、「少子化・人口減少対策」、「大仙らしさ（地域

資源)の活用」、「地域のひとづくり」及び「だいせんライフの確立と発信」の5つの視点に基づいて、編成作業に取り組んでまいります。

以上、諸般の状況を申し上げましたが、これ以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とさせていただきます。

別添

平成 29 年第 4 回大仙市議会定例会
市 政 報 告

市長報告以外の諸般の報告

平成 29 年 11 月 28 日

大 仙 市

目 次

【総務部】

- 1 大仙市オリジナルナンバープレートについて..... 3
- 2 第23回全国女性消防操法大会について..... 3

【企画部】

- 3 人権啓発セミナー「L G B TとデートD V」について 3
- 4 非核平和都市宣言事業について..... 3
- 5 首都圏在住の学生等と市職員との意見交換会について 3

【市民部】

- 6 大曲墓園整備事業について..... 4
- 7 消費者被害防止街頭キャンペーンについて..... 4

【農林部】

- 8 平成29年産米の作柄概況について..... 4
- 9 平成29年産米の概算金と追加払いについて..... 4
- 10 水稻の直播栽培導入推進事業について..... 4
- 11 園芸メガ団地のトマト栽培について..... 5
- 12 各地域開催の秋のイベントについて..... 5
- 13 第11回全国和牛能力共進会について..... 5
- 14 今年度のクマの出没状況について..... 5
- 15 鮭資源の確保活用事業について..... 6

【経済産業部】

- 16 平成30年3月高校卒業予定者の就職状況について..... 6
- 17 若年者の地元定着対策等について..... 6
- 18 秋田県企業誘致推進協議会の活動について..... 6
- 19 工業製品展示会等について..... 7
- 20 足利工業大学との連携事業について..... 7
- 21 第23回宮古市産業まつりについて..... 7
- 22 第10回国際フェスティバル i n大仙について..... 7
- 23 大曲エキまつりについて..... 7
- 24 第26回大仙市大曲ドリンクテーリングについて..... 7
- 25 旧池田氏庭園払田分家庭園ライトアップについて..... 8
- 26 大仙市ふるさとフェア2017 i n有楽町について..... 8
- 27 神奈川県座間市との友好交流について..... 8

【建設部】	
28	市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について..... 8
29	住宅リフォーム支援事業について..... 8
【上下水道部】	
30	下水道事業について..... 9
【水道局】	
31	上水道事業等について..... 9
【教育委員会（教育指導部）】	
32	こころのプロジェクト「夢の教室」について..... 10
33	小・中学校の部活動等について..... 10
34	研究指定校事業による公開研究会等について..... 10
【教育委員会（生涯学習部）】	
35	国民文化祭継承事業について..... 11
36	東北将棋大会について..... 11
37	「だいせん読書の日」について..... 11
38	角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業について..... 11
39	日本リトルシニア中学硬式野球第39回秋季新人東北大会について . 12
40	市内のスキー場について..... 12

【総務部】

1 大仙市オリジナルナンバープレートについて（税務課）

「花火のまち」としての知名度の向上や観光振興などを目的として、「花火のまち大仙市」のロゴと市のマスコットキャラクター「まるびちゃん」を組み合わせたデザインで作成し、9月20日から交付を開始しています。10月末現在の交付数は40件となっており、本プレートのPRに引き続き取り組んでいきます。

2 第23回全国女性消防操法大会について（総合防災課）

消防庁と日本消防協会が主催する「第23回全国女性消防操法大会」が、9月30日、秋田市のこまちスタジアム駐車場で開催され、本市の女性消防団員で組織した大仙市女性消防隊が3大会連続で秋田県代表として出場し、47都道府県の代表として出場した47隊中、28位の成績でした。

【企画部】

3 人権啓発セミナー「LGBTとデートDV」について

（男女共同参画推進室）

男女共同参画都市宣言10周年記念事業の一環として、9月10日に開催し25人が参加しました。「LGBTとデートDV」と題した講話は、性的少数者の人たちが日常的に感じている生きづらさや暴力が人に及ぼす影響、力での支配によらない対等な関係づくりなど、多様な性について考えるきっかけとなりました。

4 非核平和都市宣言事業について（総合政策課）

10月31日、協和市民センター和ピアを会場に、約300人が参加し「平和祈念フォーラム」を開催しました。7月に広島市へ非核平和レポーターとして派遣した中学生14人による学習報告を行ったほか、第5回平和標語コンクールの各部門最優秀賞受賞者3人に対する表彰や、秋田県遺族連合会副会長の伊藤薫^{いとうかおる}氏による講演などを行いました。

5 首都圏在住の学生等と市職員との意見交換会について（総合政策課）

若者のAターンや地元定着の推進を目的に、11月18日、東京有楽町の東京交通会館を会場に「大仙市夢ビジョンExchange@有楽町」として開催しました。本市出身等で首都圏在住の学生や若手社会人14人が参加し、本市出身ゲスト2人によるミニ講演や、大仙市と自分の未来を考えるワークショップなどを行いました。

【市民部】

6 大曲墓園整備事業について（環境交通安全課）

管理棟新築工事は9月27日、旧管理棟解体工事は10月23日に完了しています。また、園路新設及び駐車場整備等の土木工事については、12月中旬の完了予定です。

7 消費者被害防止街頭キャンペーンについて（消費生活センター）

各地域で開催された秋のイベント会場において、年々複雑化している消費者トラブルの未然防止と消費者意識の向上を目的とした「街頭キャンペーン」を実施しました。

[キャンペーンを実施したイベント]

10月15日 第30回全国ジャンボうさぎフェスティバル in 中仙

10月21日 第13回大仙市秋の稔りフェア

10月28日 にしせんぼく文化祭

【農林部】

8 平成29年産米の作柄概況について（農業振興課）

農林水産統計による10月15日現在の作況指数は、全国が「100」、秋田県は「99」の平年並みで、県南は「97」のやや不良と発表されています。

また、JA秋田おぼこの取りまとめによる本市の一等米比率は、11月13日現在96.7パーセントで、昨年同様高い水準となっています。

9 平成29年産米の概算金と追加払いについて（農業振興課）

米の出荷時にJAから農家に支払われる仮渡金については、全国的に生産調整が進み主食用米の生産が抑えられたことから、1俵当たり昨年より1,300円高い12,300円となっています。

また、先の報道のとおり、JA全農が各JAに対し1俵当たり1,000円を追加払いする見通しであり、JA秋田おぼこでは、収穫量の減収に伴う作柄の補正を行った上で、手数料を差し引いた主食用米1俵当たり600円程度を、12月下旬に追加払いする予定と伺っています。

10 水稻の直播栽培導入推進事業について（農業振興課）

今年度設置した仙北地域堀見内地区の実証ほ場で9月21日、第2回目の現地検討会を開催しました。農研機構東北農業研究センターの全面協力体制のもと、直播栽培取組農家や仙北地域認定農業者協議会会員等41人が参加し、無コーティング種子直播栽培の生育状況についての説明や活発な

意見交換が行われました。

11 園芸メガ団地のトマト栽培について（農業振興課）

6月の低温による生長の遅れや日照不足などがトマトの生育に悪影響を及ぼし、11月16日現在の出荷量は目標の6割程度の172トンと伺っています。今後は、安定した収量の確保に向け、関係機関と連携を図りながら、栽培技術や作業体制の向上のための取組を支援していきます。

12 各地域開催の秋のイベントについて（農業振興課ほか）

10月21日、22日に開催した「第13回大仙市秋の稔りフェア」をはじめ、各地域では秋のイベントが次のとおり開催され、それぞれ盛会裏に終了しています。

10月1日	第19回協和ダム美山湖フェスティバル（協和）
10月7日、8日	大仙市芸術文化祭
10月14日、15日	第30回全国ジャンボうさぎフェスティバルin中仙（中仙）
10月22日	史跡の里の秋まつり（仙北公民館まつり）（仙北）
10月28日、29日	かみおか地域文化祭（神岡）
〃	にしせんぼく文化祭（西仙北）
〃	きょうわ祭（協和）
〃	太田地域芸術発表会（太田）
10月29日	なんがい地域祭（南外）
11月4日、5日	なかせん芸術文化祭（中仙）
11月23日～26日	大曲地域芸術祭（大曲）

13 第11回全国和牛能力共進会について（農業振興課）

5年に1度開かれる国内最大の和牛品評会「第11回全国和牛能力共進会」が、9月7日から11日までの5日間、仙台市で開催されました。県産牛は出品した7部門においていずれも上位入賞はならなかったものの、重要な出品区である第7区総合評価群に本市からの2頭を含めた一群が初出品され、農家や関係団体が一体となって技術向上に取り組む体制が整ったことから、今後は経験を活かし産地としての底上げを図っていきます。

14 今年度のクマの出没状況について（農林整備課）

11月3日現在、市内でのクマの目撃数は141件、捕獲数は60頭で、昨年度の同時期と比較し、目撃数で23件、捕獲数で21頭多くなっています。冬眠の時期であり、今後は終息が予想されますが、引き続き市民への注意喚起

などを行っていきます。

15 鮭資源の確保活用事業について（農林整備課）

今年度から丸子川での鮭の採捕を実施しており、12月下旬までに約150匹の鮭を採捕する計画です。10月21日、22日の両日行われた「大仙市秋の稔りフェア」では、丸子川街区公園において、来場者にウライの見学や丸子川の鮭料理を試食していただき、本市の鮭をアピールしました。また、地元商店街と雄物川鮭増殖生産漁業組合では、鮭を活用した特産品の開発を進めています。

【経済産業部】

16 平成30年3月高校卒業予定者の就職状況について（企業商工課）

ハローワーク大曲の集計によると、求人数は10月末現在528人で、昨年同期との比較で10.0パーセント増加しています。就職希望者は10月末現在で359人、このうち内定者は311人で就職内定率は86.6パーセントと、昨年同期との比較で2.5ポイント増加しています。

17 若年者の地元定着対策等について（企業商工課）

未就職若年者への支援として、早期の就職支援と地元定着を目的とした「若者就職応援講座」を9月1日から14日までの間に5回開講し、3人が受講しています。

また、若者の早期離職防止と管理職のスキルアップを目的に、市内企業の若手従業員や管理職を対象とする「職場定着セミナー」を、秋田就職活動支援センターとの共催で大曲地域職業訓練センターを会場に、11月15日、17日の2日間にわたり開催し、72人が参加しています。

今後も若年者の地元定着をはじめ、多様な人材の雇用促進を図るための取組を積極的に実施していきます。

18 秋田県企業誘致推進協議会の活動について（企業商工課）

秋田県知事が会長を務める秋田県企業誘致推進協議会の会員として、9月28日に東京で行われた「あきたリッチセミナー in TOKYO」と、10月23日に名古屋市で行われた「あきたリッチセミナー in NAGOYA」にそれぞれ参加し、企業に本市の立地環境等を紹介するとともに、各業界の動向や今後の事業展開などについて情報交換を行いました。

19 工業製品展示会等について（企業商工課）

大曲商工会議所工業部会の「夢を語る会」、市企業連絡協議会及び市部長会との合同による工業製品展示会、講演会及び交流会が、11月24日、グランドパレス川端で開催されました。工業製品展示会と講演会は、市内企業のPRにより定住と雇用の促進を図る目的で、市民にも広く公開され、その後の交流会では企業及び商工団体の方々と情報交換が行われました。

20 足利工業大学との連携事業について（観光交流課）

花火産業構想の施策の一つである「花火を支える人材の育成」に係る事業として、足利工業大学の^{てい}教授を講師に迎え、8月28日から9月1日までの5日間、火薬類取扱保安責任者資格取得講座を開催し、受講者7人のうち5人が試験に合格しています。

また、9月12日、13日の2日間、高校生を対象とした同大学による煙火学出前講座を開催し、市内及び美郷町の3校の生徒91人が花火の種類や構造、発色の仕組みなどについて学んでいます。

21 第23回宮古市産業まつりについて（観光交流課）

岩手県宮古市の「第23回宮古市産業まつり」が9月30日、10月1日の両日開催され、本市から副市長、職員、市観光物産協会職員の7人が参加し、本市の特産品の販売や観光PRを行ったほか、両日「昼花火」を打ち上げ「大曲の花火」も紹介しました。

22 第10回国際フェスティバル in 大仙について（観光交流課）

10月7日、市と市国際交流協会との共催により、イオンモール大曲において開催しました。参加各団体による国際的活動や外国の文化を紹介するインターナショナルブースや、民族衣装、民俗芸能などを披露するステージは、多くの来場者が多様な文化を理解する機会となりました。

23 大曲エキまつりについて（観光交流課）

10月21日、JR大曲駅前広場等で開催されました。鉄道関連イベントや地元の方を中心としたステージイベントなどに約10,500人が訪れ、同日開催の秋の稔りフェアと連携した賑わいとなりました。

24 第26回大仙市大曲ドリンクテーリングについて（観光交流課）

秋の稔りフェアの協賛事業として10月21日に開催されました。大曲地区の飲食店27店を対象として、指定された3店と自由に選べる3店の計6店

を回ることができ、約800人が参加しました。

25 旧池田氏庭園弘田分家庭園ライトアップについて（観光交流課）

「晩秋のファンタジーナイト」と銘打ち、11月3日、4日の両日開催しました。両日合わせて3,000人が訪れ、様々な色彩のイルミネーションで紅く染まった庭園の幻想的な景観を楽しんでいただきました。

26 大仙市ふるさとフェア2017 in 有楽町について（観光交流課）

5回目となる本フェアを、市観光物産協会が中心となり、11月18日、19日の両日、東京の有楽町駅前広場で開催しました。特産品や新鮮な農産物の販売に加え、花火鑑賞士による花火講座の開催や花火ダリア、ダリア焼酎の紹介を行うなど「花火のまち」を積極的にPRしており、ふるさと会会員の皆様をはじめ、一般のお客様にも多数来場していただきました。

27 神奈川県座間市との友好交流について（観光交流課）

11月18日から20日までの3日間、大仙市グラウンド・ゴルフ連盟の会員15人が友好交流都市である神奈川県座間市を訪れ、座間市グラウンド・ゴルフ協会の会員13人と交流を行いました。本市の市民団体が座間市を訪れたのは今回が初めてで、交流会では自主交流について話し合ったほか、11月19日に開催された「第32回座間市民ふるさとまつり」や施設の視察を行っています。

また、同まつりには、市長はじめ市職員や物産中仙株式会社社員、仙北地域弘田地区の活性化を目指す団体「ほったさくしんかい弘田柵真会」会員が参加し、本市の特産品等の紹介や販売、観光PRを行いました。

【建設部】

28 市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について（道路河川課）

災害復旧を優先するため、市単独工事について一時的に発注業務を見合わせていたことから、市全体で47か所の工事予定箇所のうち10か所が未発注となっていますが、早期発注に努めていきます。

29 住宅リフォーム支援事業について（建築住宅課）

今年度は、来年3月20日までに実績報告書を提出いただけるものについては、全て申請を受け付けることとしており、申請件数は、10月末時点で433件となっています。なお、昨年度の実績は、申請件数375件、補助金額6,077万円、対象工事費9億4,864万円でした。

また、災害復旧分のリフォーム申請件数は、10月末時点で175件（床上浸水分154件、床下浸水分21件）となっています。

【上下水道部】

30 下水道事業について（下水道課）

公共下水道事業のうち、大曲地域1件、南外地域4件の管渠工事及び機械電気設備工事については、11月9日までに工事契約を終え、3月中旬までに完了予定です。また、大曲処理区の、大曲、神岡、中仙、仙北地域の効率的整備計画策定業務及びストックマネジメント実施方針策定業務については、10月16日までに委託契約を終え、3月中旬に完了予定です。

農業集落排水事業のうち、仙北地域福田地区の管路布設替工事及び機械電気設備工事については、8月31日までに工事契約を終え、12月中旬に完了予定です。

【水道局】

31 上水道事業等について（上水道課）

・上水道事業について

内小友字下田谷地地内の配水管布設工事は9月29日に、富士見町地内の配水管改良工事は10月13日に、それぞれ完成しています。

大曲須和町地内の配水管改良工事は10月5日に工事契約を終え1月中旬に、四ツ屋字上前村地内の配水管布設工事は10月13日に工事契約を終え12月中旬に、内小友七頭地区の配水管布設工事は11月2日に工事契約を終え3月中旬に、それぞれ完了予定です。

・簡易水道事業について

中仙地域豊岡地区の水源及び浄水施設築造工事は、12月中旬に工事契約を予定し、年度末に完了予定です。

・水道料金等徴収などの業務委託について

水道料金等の徴収業務及び窓口受付業務などの民間事業者への業務委託は、8月24日に委託契約を終え、お客様サービスの向上と業務の効率化に向け、平成30年4月から「上下水道お客様センター」を水道局内に開設するための準備を進めています。

【教育委員会（教育指導部）】

32 こころのプロジェクト「夢の教室」について（教育指導課）

子どもたちの夢の実現意欲を育むことを目的に例年実施しており、今年度最後となる小学校の教室を10月19日、20日の両日、4校の5年生を対象に、チェリストの羽川真介^{はがわしんすけ}氏を講師に迎えて実施しました。同じく中学生版の教室を9月20日、21日の両日、4校の全校生徒を対象に、ピアニストの佐藤卓史^{さとうたかし}氏を講師に迎えて中仙市民会館ドンパルで開催しました。

33 小・中学校の部活動等について（教育指導課）

9月9日に行われた「全日本吹奏楽コンクール第60回東北大会」小学校の部で、中仙小学校が金賞を初受賞しました。

9月14日に行われた「高円宮杯第69回全日本中学校英語弁論大会秋田県大会」に出場した大曲中学校3年小山杏奈^{おやまあんな}さんが最優秀賞を獲得し、各県の代表が出場する全国大会に出場しました。

マーチングでは、花館小学校、大曲中学校、太田中学校が、10月28日に行われた「第46回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会」を勝ち抜き、12月16日に「さいたまスーパーアリーナ」で行われる全国大会の出場権を獲得しました。

秋田県などが主催する「第53回全県花だんコンクール」では、太田東小学校、太田南小学校が優良賞に、太田中学校が「モデル花だん・花のまちづくり賞」に、神岡小学校が「モデル花だん」に輝きました。

34 研究指定校事業による公開研究会等について（教育指導課）

学習指導の充実のための取組として、各種研究団体における研究大会や国の研究指定校事業による公開研究会が開催され、県内外からの参加者を得て、これまでの研究成果を発信し、教員の授業力向上等の研修の充実を図っています。

10月18日には、東大曲小学校が「公開授業研究会及び外国語活動教員研修会」を開催し、国際教養大学との3年間の外国語活動の研究成果を公開しました。

10月24日には四ツ屋小学校を会場に「県南書道教育研究大会」、10月27日には大曲中学校を会場に「全日本中学校技術家庭科研究大会」、11月17日には花館小学校を会場に「全日本小学校管楽器教育研究大会」が開催されました。

11月22日には、大曲南中学校が、国の教育課程研究指定校事業の採択を受けた「ESD」いわゆる「持続可能な開発のための教育」に関する2年

間の研究成果を公開しました。

大曲西中学校区の小・中学校では、今年度、文部科学省委託による障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業を行っています。大曲支援学校とのスポーツを通じた交流活動や、車いすバスケットボールの選手を迎えて体験・交流活動を行いました。

【教育委員会（生涯学習部）】

35 国民文化祭継承事業について（生涯学習課）

「第29回国民文化祭・あきた2014」の継承事業として、9月30日に仙北ふれあい文化センターで「第12回大仙市子ども囲碁大会」を、10月7日に大曲市民会館で若者中心のステージ発表「伝統文化MIRAIステージ」を開催し、両事業合わせて240人が参加・鑑賞しました。

36 東北将棋大会について（生涯学習課）

11月9日から12日までの4日間、西仙北青少年自然の家と西仙北ぬく森温泉ユメリアを会場に、東北の10大学から80人が参加し「第97回東北学生将棋大会」が、また、11月12日はユメリアを会場に、県内外から126人が参加し「第34回東北将棋大会・大仙市長杯争奪戦」が開催され、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

37 「だいせん読書の日」について（総合図書館）

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」において定めた「だいせん読書の日」（11月第1木曜日）は、今年（11月2日）で3年目を迎えました。今年は、広報紙やコミュニティFMに加え、新たに幟旗やポスターを作成し、あらゆる年代が読書に関心をもてるよう周知に努めるとともに、大曲図書館で11月2日、3日の両日開催した「来ぶらりフェス」をはじめ、各図書館においても様々な関連イベントを開催しました。

38 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業について（文化財保護課）

事業開始から2年目を迎え、3家の敷地及び建造物群の取得が完了したことから、「新・秋田の行事」の開催に併せ、国登録有形文化財である旧本郷家住宅の特別公開を10月14日、15日の両日行いました。2日間で950人が見学し、建造物や庭園に対する高い評価が多数寄せられており、今後も、地域や見学者の声に耳を傾けながら、保存整備を年次計画で進めていきます。

39 日本リトルシニア中学硬式野球第39回秋季新人東北大会について

(スポーツ振興課)

日本リトルシニア中学硬式野球の第39回秋季新人東北大会については、東北連盟に加盟している52チームを迎え、9月30日から4日間にわたり、大仙市6会場、横手市3会場、仙北市2会場、美郷町1会場で開催されました。本大会は、東北各地から選手、保護者、関係者など約3,000人が訪れる大会であることから、地理的に利便性の良い野球場や受入態勢の充実等をアピールしながら、本市を主会場とした継続開催を働きかけていきます。

40 市内のスキー場について (スポーツ振興課)

市内3スキー場については、協和スキー場と大台スキー場が12月22日、大曲ファミリースキー場が12月23日にオープンする予定となっています。今年度も児童生徒が雪国ならではのスポーツを通して体力づくりが行えるよう、市内の小学生、中学1・2年生及び特別支援学校の児童生徒を対象に、無料のリフトシーズン券を配布することとしています。

